



社会福祉法人春献美会いずみ保育園 令和4年11月号

小晴日和と聞くと、春のここのように感じますが、冬の初め、ちょうど11月頃の穏やかなお天気を意味するそうです。木々も紅葉が始まり、寒さの本番を迎える気持ちの良い日が続きます。今から冬に備えて、体をたくさん動かし、手洗いうがいを練習して、寒さに負けない体づくりをしていきましょう。

11月10日(木)は歯科健診です

【当日のお願い】

- ・当日の朝は、歯磨きをして登園しましょう。
- ・9時までに登園しましょう。
- ・治療中の歯がある場合や、歯科医師への質問は、担任を通じて連絡帳などで事前にお知らせください。

健診の結果によっては、受診していただくことがあります。

今年度最後の歯科健診です。当日お休みを予定している方で、健診だけ受けて帰宅される方は、あらかじめ担任にお知らせください。



11月の保健目標

寒さに負けない体を作る

11月の保健行事

8日(火) 乳児健診

10日(木) 歯科健診

24日(木) ぞう組 視力測定、保健指導



お願い



☆発熱やおう吐、頻回な下痢があった翌日は、保育園を休み、体調が十分回復してから登園しましょう。発熱の場合は「解熱後（熱が下がってから）24時間はお家で様子を見ていただく」ようお願いいたします。お仕事の都合でなかなか休みが難しいと思いますが、病児保育などを利用することもご検討ください。

集団生活では、体調不良のまま登園した場合、他のお子さんに移して広がってしまうこともあります。また、お子さん自身の体調不良が長引くなど負担がかかります。ご理解ご協力をお願いいたします。

☆今年は、新型コロナウイルスとインフルエンザの同時期の流行が懸念されています。インフルエンザにつきましては、主治医と相談の上、計画的に予防接種を行っていきましょう。

☆胃腸炎の流行する季節です。おう吐や下痢で衣類が汚れてしまった場合、保育園では感染拡大防止の観点から、洗わずに返却しています。消毒方法にそってご自宅でお洗濯をお願いいたします。

ほけんニュース

「うれしい言葉」で 伝えましょう

言葉は人と人をつなぐ大切なツールです。お子さんは今、言葉の意味や使い方、人に伝わる話し方などを体験していく大切な時期です。親子でうれしい言葉を見つけて、積極的に使っていきましょう。

いわれて「うれしい言葉」は？



人にいわれると「うれしい言葉」と「悲しい言葉」があります。「悲しい言葉」によって、人を傷つけてしまうこともあるので、「うれしい言葉」を使うようにしましょう。

「うれしいことば」を さがしてみよう

けんこうくまちゃん



- ☆ありがとう
- ☆やさしいね
- ☆たのしい
- ☆だいすき!
- ☆すごいな
- ☆よかったね
- ☆がんばったね
- ☆だいじょうぶ?
- ☆いっしょに あそぼう!

ほかに どんないいことばがあるのかな?

「悲しい言葉」をいわれた時は……



「ばか」「あっちいけ」「むかつく」などの悲しい言葉をお子さんにいわれた時は、「その言葉をいわれて悲しくなっちゃったな」と率直に伝えます。

乳幼児期は、感情のコントロールを学んでいるところです。発言を禁止するのではなく、いわれた相手が悲しくなることを知らせます。悲しそうなる保護者を子どもが見ることで、「この言葉を使うのはよくないのかな」と感じて、覚えていきます。

まずは子どもの気持ちを聞いてみましょう

お子さんに、何がイヤだったのかなど、気持ちを聞いてみてください。そして、「悲しくなっちゃったんだね」「もっとOOがしたかったんだね」と、お子さんの言葉をくり返したり、代弁したりします。そのうえで、「OOするといいよ」「こういうふうにできたらすごいね」などと伝えるようにします。



乱暴な言葉は子どもを傷つけます

大きな声で怒鳴ることや、「ばか」「だめな子」などの人格を否定する言葉は、子どもの心や脳を傷つけます。また、周りのおとなの言動をまねてしまい、ほかの子どもを傷つけてしまっていることもあります。

「だめ」「やめて」「OOしないで」などの禁止ばかりでは、子どもには、どうすればよいのかかわからないことがあります。否定的な言葉のかわりに、何をすればよいのかを具体的に伝えるように心がけてください。

